

													昭 18	年 月 日	略 歴								
													至 昭 20			自 昭 19	自 昭 19	自 昭 19	自 昭 19	自 昭 19	自 昭 19	自 昭 19	自 昭 19
10	9	9	8	8	8	6	6	6	5	4	7	4	12	9	6	6		通称号 陣才二九九一部隊 第六三師団司令部略歴					
2	16	10	30	15	10	13	12	10	15	20	28	5	10	15	30	1	軍令陸甲才三六号により編成下令。 北京において、独立混成才一五旅団司令部を基幹として編成完結。 昭和十八年秋冀西作戦（オ号作戦）に基づく討伐に参加。 河南および京漢作戦に基づく討伐に参加。 燕京道作戦に基づく討伐に参加。 移駐のため主力は北京出發。 山海関通過。 興安南省、主力通遼着、同地付近の警備。 通遼より、奉天省文官屯に移駐。 文官屯において武装解除。 奉天市北陵に移動。 奉天才一三作業大隊に編入。 奉天出發。 黒河経由入「ソ」。						
																		摘 要					

0252

												昭	年 月 日	第六六旅団司令部略歴 通称号 陣才一八八四部隊
												18		
至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	昭		
												昭	18	
												昭	19	
												昭	20	
9	8	8	8	6	6	6	5	4	12	11	9	昭	19	4
												昭	19	2
												昭	19	12
												昭	19	9
												昭	19	6
18	20	15	13	15	13	11	15	20	15	17	30	昭	19	1
												昭	19	4
												昭	19	15
												昭	19	9
												昭	19	1
												昭	19	30
												昭	19	1
<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 独立混成才一五旅団司令部を基幹として北支、河北省保定において編成完結。 昭和十八年秋冀西作戦に基づく討伐に参加。 北支、白洋淀周辺および西南方地帯掃蕩作戦に参加。 河南および京漢作戦に基づく討伐に参加。 昭和十九年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 燕京道作戦に基づく作戦に参加。 満洲に移駐のため主力北支保定発。 山海関通過。 主力は四平省及遼東鄭家屯着、同地付近の警備。 奉天省文官屯に移駐。 文官屯において武装解除。 奉天（北陵大学校）に移動、同地編成の作業大隊に編入。 奉天出發。</p>														
												摘		
												要		

0254

					10
					16
					黒河經由入「ソ」。
			旅団長		
		二代	初代		
		〃	少將		
		下	田		
		枝	中		
		龍	信		
		男	男		

0255

昭 18											年 月 日	略 歴	通称号 陣才二九九二部隊	独立歩兵第七七大隊略歴				
至自至自至自 昭 昭 20 19																		
9	9	8	8	6	6	6	5	4	6	4	12	8	6	6				
13	10	15	14	14	12	10	16	20		18	10	16	30	1				
<p>奉天発。</p> <p>奉天作業才六大隊に編入。</p> <p>奉天着。武装解除。</p> <p>金宝屯出発。</p> <p>主力四平省、金宝屯（鄭家屯の南六キロ）着、教育訓練</p> <p>山海関通過。</p> <p>滿洲に移駐のため主力は河北省望都出発。</p> <p>燕京道作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>河南作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>同日より同地付近の警備。</p> <p>昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>編成完結。</p> <p>河北省保定において、独立混成才一五旅団、独立歩兵才七七大隊を基幹として</p> <p>軍令陸甲才三六号により編成下令。</p>																		
															摘	要		

0256

	9
	30
	黒河經由入「ソ」。
大隊長	初代
二代	中佐
少佐	船木
石野	健次郎
武	

昭 至 自 至 自 昭											年 月 日	略 歴	通称号 陣才二九九三部隊	独立歩兵第七八大隊略歴
20 19														
8	8	7	6	6	6	6	5	4	11	9				
15	9	1	29	19	16	14	13	13	12		1	初	30	1
<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北支、河北省保定において、独立混成才一五旅団、独立歩兵才七八大隊を基幹として編成完結。 河北省高陽県高陽に移駐。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 河南作戦に基づく討伐に参加。 満洲移駐のため主力河北省保定出発。 山海関通過。 主力興安南省、銭家店着、同地付近の警備。 部隊の主力(才五中隊欠)は、熱河省に移駐のため銭家店出発。 熱河省承德着、同地を基点として萬里長城付近(古北口)の討伐。 日「ソ」開戦とともに錦州省錦州市に移駐後、才一〇八師団長の命により朝陽に移動、同地において陣地構築。 錦州省朝陽において停戦。</p>														
摘要														

0258

至自											
10	9	9	8	8	11	10	9	9	8	8	8
20	15	5	15	12	30	8	25	10	28	20	18
<p>奉天市に移駐。</p> <p>奉天市発。</p> <p>錦州市着。</p> <p>錦州市において武装解除。</p> <p>同地において才六作業大隊に編入。</p> <p>錦州出發。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>才五中隊は、奉天に移り、同地において陣地構築。</p> <p>奉天市（東陵）において停戦。</p> <p>同地において才三作業大隊に編入。</p> <p>奉天出發。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p>											
<p>大隊長 初代 中佐 阿久力川 赳夫</p> <p>二代 小田 二郎</p>											

至自至自至自至自											昭	年	月	日	略	歴	摘	要
昭											18							
20											19							
8	8	6	6	6	6	5	5	4	12	11	6	4	12	9	7	6	6	
15	13	19	17	16	5	22	16	18	28	17	30	24	9	9	初	30	1	
<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 独立混成才一五旅団、独立歩兵才七九大隊を基幹として北支、河北省保定において編成完結。 保定より易県に移駐。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 河南作戦に基づく討伐に参加。 昭和十九年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 燕京道作戦に基づく討伐に参加。 北支、霸県地区周辺作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため主力河北省定興発。 山海関通過。 主力興安南省通遼県大林村着、同地の警備。 奉天省、文官屯に移駐。 文官屯において武装解除。</p>																		

独立歩兵第七九大隊略歴

通称号 陣才二九九四部隊

略歴

摘要

		9	9
		8	
		26	11
		20	
		奉天（北陵大学校）に移動、同地編成の作業才五大隊に編入。	
		奉天出發。	
		黒河經由入「ソ」。	
	大隊長	初代	少佐
		山村	
	二代	萩	留次郎

至自至自至自													昭	年	月	日	略	歴	摘	要			
昭 20													18										
6	6	4	12	11	9	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6								
13	11	21		30	1	1	23	20	19	18	16	15	14	7	1								
<p>滿洲に移駐のため、主力河北省新樂県東長寿発。</p> <p>燕京道作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>昭和十九年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>河南および京漢作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>北支、任邱着、同日より同地付近の警備。</p> <p>北支、河北省保定着。</p> <p>山海関通過。</p> <p>安東通過。</p> <p>釜山通過。</p> <p>下関港出帆。</p> <p>福島県郡山発。</p> <p>福島県郡山において編成完結。</p> <p>昭和十八年軍令陸甲才三六号により編成下令。</p>																							

独立歩兵第一三七大隊略歴

通称号 陣才一九三五部隊

0262

	9	9	9	8	6	6
	30	13	10		16	15
	黒河經由入「ソ」。	奉天出發。	奉天才六作業大隊に編入。	奉天省、文官屯に移動。	主力四平省、鄭家屯着、同日より同地付近の警備。	山海関通過。
	大隊長	初代	大尉	北爪義貞		
	二代	〃	釜谷義治			

0263

		昭和18年		自昭和19年		自昭和20年		自昭和20年		自昭和20年		自昭和20年		自昭和20年		昭和18年	年月日		略歴		
																6	6	6	6	歩兵第六七旅団司令部略歴	
																1	30	5	5	通称号 陣才一八八六部隊	
																1	30	5	5	軍令陸甲才三六号により編成下令。	
																6	6	6	6	北支河北省豊台(北京の西南)において編成完結。	
																9	9	9	9	昭和十八年秋季冀西作戰に基づく討伐に参加。	
																10	10	10	10	京漢ならび河南作戰に基づく討伐に参加。	
																11	11	11	11	燕京道作戰に基づく討伐に参加。	
																11	11	11	11	満洲に移駐のため、北支、豊台出發。	
																12	12	12	12	山海関通過。	
																12	12	12	12	興南南省、通遼着。	
																11	11	11	11	通遼出發。	
																8	8	8	8	奉天(北陵)着。	
																8	8	8	8	奉天において停戦。	
																8	8	8	8	奉天において武装解除。	
																8	8	8	8	奉天第七、第八作業大隊に編入	
																9	9	9	9	奉天出發。	
																9	9	9	9	黒河経由人「ソ」。	
																				摘要	

旅团长

初代

少将

寺倉

小四郎

二代

大佐

橋場

常次

(少将)

											昭 18	年	独立歩兵第二四大隊略歴 通称号 陣才四二八五部隊		
											月	略			
											日			歴	
8	8	8	6	6	6	6	6	4	8	4	2	9	6	6	<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北支、河北省苑平県門頭溝において、独立混成才六旅団、独立歩兵才二四大隊を基幹として編成完結。 同日より、門頭溝付近の警備。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 京漢ならびに河南作戦に基づく討伐に参加。 燕京道作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため、主力芦溝橋（北京の西方）出発。 満支国境山海関通過。 主力興安南省、通遼県通遼着。 日「ソ」開戦により奉天地区防衛のため通遼出発。 文官屯着。 同地において武装解除。 奉天市北陵に集結。</p>
30	20	16	13	13	12	10	10	23	31	8	6	9	30	1	
											摘要				

0266

		9	9
		25	7
			3
		主力は奉天才七作業大隊に編入。 奉天発。 黒河經由入「ソ」。 大隊長 大尉 国光 孝	
	菊池永雄 (267) (一六八二一) 一九四〇		

0267

至自		至自至自至自至自至自										昭		年 月 日	独 立 步 兵 第 二 五 大 隊 略 歴					
		昭 20										昭 19				18				
8	8	7	6	6	6	6	5	4	11	10	8	4	12			9	6	6		
15	12	1	30	15	13	11	10	29	1325	1228	8	21	28	30	1					
<p>錦州省錦州市において停戦、奉天に移動</p> <p>熱河省討伐に参加。</p> <p>熱河省討伐参加のため通遼出發。</p> <p>主力興安南省通遼界通遼着、同地付近の警備。</p> <p>滿支国境山海関通過。</p> <p>滿洲に移駐のため、主力北支、河北省涿県出發。</p> <p>燕京道作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>昭和十九年秋季討伐に参加。</p> <p>京漢ならび河南作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>同日より同地付近の警備。</p> <p>北支、河北省固安において独立混成才六旅団、独立歩兵才二五大隊を基幹として編成完結。</p> <p>軍令陸甲才三六号により編成下令。</p>																				
															略		歴		摘 要	

		9	9	8
		25	7	30
				8
				20
				奉天市において武装解除。
				同市北陵に集結、部隊の主力は、奉天才七作業大隊に編入。
				同地発。
				黒河經由入「ソ」。
				大隊長 大尉 真柄 義数

至自至自自											昭	年 月 日	独立歩兵第八〇大隊略歴 通称号 陣才二九九五部隊
昭 昭											18		
20 19											6		
8	8	8	8	6	6	6	6	27	410	9	6	6	<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北支河北省三河において、独立混成才一五旅団、独立歩兵才八〇大隊を基幹として編成完結。 同日より、同地付近の警備。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 京漢ならびに河南作戦に基づく討伐に参加。 燕京道作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため、主力北支、通州出發。 滿支国境山海関通過。 主力興安南省、通遼県木里図着、同地付近の警備。 木里図出發。 奉天省、文官屯着 文官屯において武装解除、奉天に移動。 奉天（北陵大学）において奉天才九作業大隊に編入。</p>
30	18	15	14	16	14	13	10	2420	3028	30	1	略 歴	
											摘要		

0270

	11	9
	28	30
大隊長 少佐 山川 吉 春	黒河經由入「ソ」。	奉天出發。

0271

至自至自自												昭	年	月	日	略	歴	摘要
昭 20												18						
9	8	8	8	6	6	6	6	6	4	4	2	9	6	6	<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北支、密雲において、独立混成才一五旅団、独立歩兵才八一大隊を基幹として編成完結。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 河南ならびに京漢作戦に基づく討伐に参加。 燕京道地区作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため、主力北支、河北省順義出發。 満支国境山海関通過。 主力興安南省通遼県通遼着、同地付近の警備。 興安西省、開魯警備のため同地に移駐、同日より同地付近の警備。 奉天警備のため、開魯出發、同日奉天市着。 奉天市において武装解除。 奉天市北陵に移動。 同地において才一〇作業大隊に編入。</p>			
2	30	16	11	18	17	18	17	16	15	14	13	15	8	30		1		

独立歩兵第八一大隊略歴

通称号 陣才二九九六部隊

略 歴

摘要

0272

		9	9
		27	10
	大隊長 大佐 少佐 河野 享	黒河經由入「ソ」。	奉天（北陵）出發。

至自		昭	年 月 日	通称号 陣才一四九七部隊	第六三師団 迫撃砲兵隊 略歴
		20			
10	9 9 9 8 8 6 6 6	3 2			
			1		
			15		
			12		
			13		
			17		
			12		
			20		
			5		
			7		
			15		
			20		
			9		
			9		
			10		
<p>軍令陸甲才一八号により編成下令。 北京において、才六三師団隷下の各独立歩兵大隊の人員をもつて編成完結。 同日より同地区付近の警備。 満洲に移駐のため、主力北京出發。 満支国境山海関通過。 主力興安南省、通遼県錢家店着。 錢家店出發、奉天（東陵）に移動陣地構築。 奉天（東陵）において武装解除。 同地において才三、才一一作業大隊に編入。 同地出發。 黒河經由入「ソ」。</p>					
<p>迫撃砲隊長 大尉 國中利夫</p>					
				略	歴
				摘	要

0274

至自至自至自										至自至自至自			昭	年 月 日	第六三師團工兵隊略歴			
										昭	昭	昭	18					
10	10	9	9	9	8	8	6	6	6	6	5	10	3			11	9	6
18	3	20	18	19	17	15	12	16	14	14	12	10	1	14	18	18	30	1
<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北支河北省豊台において独立混成才一五旅団、工兵隊を基幹として編成完結。 同日より同地付近の警備。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 京漢ならびに河南作戦に基づく討伐に参加。 燕京道地区作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため、主力北支、通州出發。 満支国境、山海関通過。 興安南省、通遼県通遼着。 通遼出發。奉天に移駐。 奉天において武装解除。 北陵に移動、同地において才一、才三七作業大隊に編入。 奉天出發。 黒河經由入「ソ」。</p>																		
摘要																		

0275

<p style="text-align: right;">隊長 少佐 西 沢 彦 義</p>

0276

至自至自至自													至自至自 昭 19			昭 18	年 月 日	略 歴	通称号 陣才二九九七部隊	第六三師団輜重隊略歴
10	10	9	9	9	8	8	8	6	6	6	6	4	12	8	6	6				
18	3	20	18	19	17	25	20	14	18	16	14	30	4	31	29	30				
<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北京において輜重兵才三五連隊を基幹として編成完結。 同日より同地付近の警備。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 河南および京漢作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため、主力北京出發。 満支、国境、山海関通過。 主力興安南省、通遼着、同地付近の警備。 奉天に移動。 同地において武装解除。 北陵収容所に移動。 部隊の主力は、才一、才三七作業大隊に編入。 北陵出發。 黒河經由入「ソ」。</p>																				
<p>摘要</p>																				

0277

隊長
大尉
岩
谷
常
男

0278

											昭 18	年 月 日	第六三師団通信隊略歴 通称号 陣才二九九九部隊				
											昭 19						
9	8	8	8	6	6	6	5	4	7	4	11			9	6	6	
7	20	13	12	14	13	10	4	20	10	15	8	17	30	1	略歴	軍令陸甲才三六号により編成下令。 北京において、独立才一五旅団、通信隊を基幹として編成完結。 同日より、同地付近の警備。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 京漢ならび河南作戦に基づく討伐に参加。 燕京道作戦に基づく討伐に参加。 満洲移駐のため、北京出発。 満支国境、山海関通過。 興安南省、通遼着。 通遼出発、文官屯に移動。 文官屯出発、奉天に移動。 奉天において武装解除。 同地（北陵）において才一一作業大隊に編入後、才一、才三七作業大隊に改編され、部隊の主力は、才一作業隊に編入。	摘要

0279

		10	9
		3	18
	通信隊長 初代 大尉 小 山 信 一 二代 〃 小 島 梅 太 郎	黒河經由入「ソ」。	北陵出発。

至自										昭 至 自至 自				昭	年	月	日	略	歴	摘	要
11	11	11	10	8	8	8	6	6	6	6	11	3	11	9							
20	7	5	5	30	20	12	30	24	28	21	26	19	24	13	0	12	30	1			
<p>軍令陸甲才三六号により編成下令。 北支河北省豊台において才三五師団野戦病院を基幹として編成完結。 同日より同地において担任業務に従事。 昭和十八年秋季冀西作戦に基づく討伐に参加。 京漢ならびに河南作戦に基づく討伐に参加。 満洲に移駐のため、北支、定県出發。 満支国境山海関通過。 興安南省、通遼着。 通遼出發、奉天着。 奉天において武装解除。 奉天（北陵）に集結。 同地において才五五、才五六作業大隊に編入。 才五五作業大隊奉天出發。 満洲里經由入「ソ」。</p>																					

第六三師団野戦病院略歴

通称号 陣才二九三二部隊

略 歴

摘 要

0281

11 10

22 8

才五六作業大隊奉天出發。
黒河經由入「ソ」。

病院長 少佐 大久保 一郎

0282

至自												昭		年	月	日	略	歴	摘	要
												20	19							
11	11	11	10	8	8	8	8	6	6	6	9	5	6	6						
20	7	5	5	30	20	15	12		12	11	10	5	25	30	1					
<p>滿洲里經由入「ソ」。</p> <p>才五五作業大隊奉天出發。</p> <p>奉天（北陵）において、才五五、才五六作業大隊に編入。</p> <p>奉天（北陵）に移動。</p> <p>文官屯に移動、同日武装解除。</p> <p>同地で停戦。</p> <p>奉天（東陵）に移動。</p> <p>與安南省、通遼県通遼着、同地付近の警備。</p> <p>滿支国境、山海関通過。</p> <p>河南作戦に基づく討伐に参加。</p> <p>同日より、同地付近の警備。</p> <p>北支河北省保定において才三五師団病馬廠を基幹として編成完結。</p> <p>軍令陸甲才三六号により編成下令。</p>																				

第六三師団病馬廠略歴

通称号 陣才四二八八部隊

略

歴

摘

要

	11	10
	22	8
廠長 獸大尉 東口 方小	黒河経由入「ソ」。	才五六作業大隊奉天出發。

0284